

看護部だより10月号

# ことり新聞

October  
2021.10.8  
Vol.102



## 北之園看護部長



10月は、法人内定期異動の時期です。

当院は、協和マリナホスピタルより野口看護部長補佐が着任されました。緩和ケア認定看護師の資格も所持されています。皆さんとのより良い関係性作りと病棟運営把握を目的に、10月緩和ケア病棟・11月一般障害病棟（東5階）・12月回りハ病棟（西2階）で業務に就かれます。当該病棟の方は勿論ですが、以外の方々も千里の強みを盛大にアピールお願いします。

看護部は野口部長補佐を迎えて、更に発展できる組織作りを目指したいと考えています。



来月号では、ご本人に「ことり新聞」に登場していただく予定です。楽しみにお待ちしております。

## 研 修



- 5日 卒1「多重課題」
- 6日 認知症ケアチーム「事例検討会」
- 7日 卒3「看護現場額」
- 8日 法人「在宅看護Ⅰ」
- 9・20日 法人「人が育つ職場環境について学ぼう」
- 12日 オムツフィッターフォローアップ
- 14日 法人卒1「メンタルヘルスフォローアップ」
- 22日 法人「在宅看護Ⅰ・Ⅱ」

## 行 事

- 1日 ドクター千里
- 8日 コロナワクチン接種
- 4～22日 大阪大学実習
- 13日 中途入職者ふれ愛サークル
- 25～11/12日 大阪大学実習
- 29日 職員家族コロナワクチン

撮取



## コロナ禍での看護職員のメンタルヘルスケア研修に参加して

西4階 主任看護師

COVID-19による医療場面の变化には、十分なケアができないことによる無力感や、家族の面会ができないことに対する共感疲労が上げられます。また、医療従事者たちの、自粛を余儀なくされている現状での苛立ちや、モチベーションの低下も心身への影響に拍車をかけている現状があります。

ストレスフルな状態から脱却するためには自分自身のケアをすることが大切ですが、傾聴したり、偏った考え方を改善できるように、他者が支援する環境もまた重要となります。更に、ポジティブメッセージを伝えるとホジティブ思考は高まるといわれます。ストレスや思いを吐き出し共感し合える職場環境や、ポジティブな声のかけあいが皆さんの心身のバランスの保持に繋がります。



「ケセラセラ」この言葉はスペイン語で「なるようになるさ」という意味を持ちます。こんな時こそ、こんな時だからこそ「ケセラセラ♪」寄り添って共に乗り越えていきませんか？

## 「ドクター千里」シミュレーション

教育委員会主催の元ドクター千里のシミュレーションが9/28・29・10/1の3回行われました。

今回は「ドクター千里」のシステムを全職員が広く認識し、フローに沿って現場に駆けつけるまでの対応ができることを目的とされて実施されました。



## 新人看護師 免許証授与式

9月30日臨床倫理の研修後に看護部長より看護免許証の授与が行われました。



8月 新規褥瘡発生 3 件

(9月褥瘡予防対策委員会)

